

2022年4月18日

各位

会社名 東京センチュリー株式会社
 代表者名 代表取締役社長 馬場 高一
 (コード番号 8439 東証プライム市場)
 問合せ先 広報IR部長 山下 圭輔
 (TEL03-5209-6710)

2022年3月期通期連結業績予想の修正および当社のロシアの航空会社向けエクスポージャーについて

当社は、足元の業績動向等を踏まえ、2021年5月13日に公表いたしました2022年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正する他、ロシアの航空会社向けエクスポージャーについて、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期の通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日~2022年3月31日)

	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2021年5月13日公表)	百万円 100,000	百万円 60,000	円 銭 491.48
今回修正予想(B)	90,000	50,000	409.56
増減額(B-A)	△ 10,000	△ 10,000	△ 81.92
増減率(%)	△ 10.0%	△ 16.7%	△ 16.7%
(参考)前期連結実績 (2021年3月期)	78,105	49,145	402.57

2. 修正の理由

2021年5月13日に公表いたしました通期連結業績予想につきましては、国内の持分法適用関連会社、国内のオートリース事業、米国・CSIリーシング社などの業績が好調に推移する一方、変異株流行に伴う新型コロナウイルス感染症の影響により、航空旅客需要の減退に伴う航空会社の業績低迷および航空機の市場価額の下落など、当社の航空機リース事業につきましては、期初の想定よりも厳しい事業環境が続いております。この結果、当社グループが保有する航空機に対して、期初の想定を上回る減損損失の計上を行うものであります。

また、航空機の減損損失の計上の他、国内・海外向け債権に対する貸倒引当金繰入額等の損失計上もあり、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益、1株当たり当期純利益は、いずれも前回発表予想を下回る見通しとなったため、2022年3月期の通期連結業績予想を上表のとおり、修正いたしました。

なお、期末配当予想は、長期的かつ安定的に利益還元を行う基本方針に変更がないことから、1株当たり72円からの変更はありません。年間配当金は143円(第2四半期末71円 期末72円 合計143円)となる見通しです。

3. 当社のロシアの航空会社向けエクスポージャー

当社の連結子会社で航空機リース事業を展開する Aviation Capital Group LLC（米国・カルフォルニア州 以下 ACG）は、ロシアの航空会社向けに約6億ドル（リース8機・融資・融資保証の合計）のエクスポージャーを有しておりますが、ACGの決算期が12月であることから、その影響額等につきましては、当社の次期事業年度である2023年3月期通期連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）に反映する予定であります。なお、当該エクスポージャーにつきましては、保険が付保されており、保険会社に対する請求権も行使済であります。引き続きリース機体の確保、債権の回収等に向けて、適切な対応を進めております。

（注）本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上